

付委員長ノ採決ニ依リ原案ノ儘ニ決ス

次ニ鹵簿中天皇鹵簿ニ付平沼顧問官ヨリ「國務大臣樞

密院議長

轉

ヲ國務大臣轉
樞密院議長轉

ト二行ニ書キ今クルコトノ發

議アリ一同異議ナク右修正ヲ當局者ニ交渉スルコトニ

決ス

其ノ他異議ナク決定尚審査報告書ノ作成ヲ委員長

ニ一任スルコト為ル

伊東委員長閉會ヲ宣ス

(午後三時閉會)

樞密院

衆議院議員選舉法施行令改正ノ件第一回審査委員會

大正十四年十二月八日(火曜日)本院事務所
於テ閉會

出席者

穂積議長

審査委員長

富井顧問官

審査委員

平山顧問官

倉富顧問官

古市顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

閣席者
國務大臣

若槻内務大臣

岡田文部大臣

説明員

山川法制局長官

金森法制局参事官

潮内務省地方局長

松村内務省警保局長

石原内務書記官

坂内務事務官

川崎内務事務官

立石司法省刑事局長

古田司法書記官

松浦文部次官

阿部農林次官

桑山逓信次官

大橋逓信省郵務局長

島山逓信省電務局長

宮崎逓信省管船局長

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十五分開會)

富井委員長開會ヲ宣ス

若槻内務大臣議案ノ大要ヲ説明ス

富井委員長大體ニ関スル質問ヲ求メタルニ別ニ質問

者ナキヲ以テ各章ノ審議ニ入ル

(堀江書記官逐條朗讀ス)

第一條ニ付倉富顧問官ヨリ、第二十二條ニ付江本

顧問官ヨリ各質問アリ潮内務省地方局長夫々答

辯ス

次テ倉富顧問官ヨリ點字投票ニ関シ及第二十六

條ノ意義ニ関シ質問アリ潮内務省地方局長之ニ答

富井委員長ヨリ不在投票ノ範圍ニ関シ質問アリ若
槻内務大臣及潮内務省地方局長之ニ答辯ス

第三十條ニ関シ江本、富井西顧問官ヨリ質問アリ又同
條第五條ノ被拘禁者ニ付質問アリ其ノ他第三十
二條ニ関シ倉富顧問官ヨリ第三十七條及第三十八
條ノ罰則規定ニ関シ富井委員長ヨリモ質問アリ潮
内務省地方局長一々之ニ答辯ス
以上ヲ以テ第四章迄ノ質問ヲ飲ル
富井委員長閉會ヲ宣ス

(午後四時十五分閉會)

衆議院議員選舉法施行令改正ノ件第二回審査委員會

大正十四年十二月十日(木曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

穂積議長

審査委員長

富井願同官

審査委員

平山顧問官

倉富顧問官

古市顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

山川顧問官

湖岸者
説明員

川崎内務次官

潮内務省地方局長

松村内務省警保局長

石原内務書記官

坂内務事務官

川崎内務事務官

立石司法省刑事局長

古田司法書記官

松浦文部次官

桑山逓信次官

大橋逓信省郵務局長

二上書記官長

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

富井委員長開會ヲ宣ス

劈頭潮内務省地方局長ヨリ前日ノ質問ニ對スル答
辯ヲ補足陳述スル所アリ

平沼顧問官ヨリ被拘禁者ノ不在投票ニ關シ、富井
委員長ヨリ第三十七條及第三十八條ノ罰則規定
ニ關シ孰レモ當局ノ再考方希望ノ意見ヲ述フ

次テ第五章以下各章ノ質問ニ入ル

第四十條ニ關シ倉富顧問官ヨリ、第五十一條ニ關シ江
木顧問官ヨリ、第五十三條ニ關シ倉富顧問官ヨリ各質

問アリ潮内務省地方局長一々之ニ答フ

第五十四條ノ職業ノ屈出ニ關シ江木顧問官ヨリ、第五
十五條ノ解釋ニ關シ倉富顧問官ヨリ各質問アリ松
村内務省警保局長夫々之ニ答フ

第九章選舉運動ノ費用ニ關シ江木倉富兩顧問官及
富井委員長ヨリ質問アリ松村警保局長一々之ニ答フ

次ニ第十章選舉ニ關スル費用ニ關シ江木、倉富兩顧
問官及富井委員長ヨリ質問アリ潮内務省地方局長
一々之ニ答辯ス

次ニ第十一章無料郵便物ノ差出ニ關シ江木顧問官及

富井委員長ヨリ質問アリ桑山逸信次官一々之ニ答フ
次ニ第十二章公立學校等ノ設備ノ使用ニ関シ倉富
江本西顧問官及富井委員長ヨリ質問アリ松村警保局長及松
浦文部次官之ニ答辯ス

右依テ富井委員長閉會ヲ宣ス

(午後四時十五分閉會)

衆議院議員選舉法施行令改正ノ件第三回審査委
員會

大正十四年十二月十四日(月曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

穂積 議長

審査委員長

富井 顧問官

審査委員

平山顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

古市顧問官

平沼顧問官

江本顧問官

國務大臣

若槻内務大臣

説明員

山川法制局長官

金森法制局参事官

潮内務省地方局長

石原内務書記官

坂内務事務官

川崎内務事務官

立石司法省刑事局長

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午前十時十分開會)

富井委員長開會ヲ宣ス

劈頭若槻内務大臣ヨリ前回、質問ニ對スル答辯トシテ
第一條、第二十六條第六號(拘留物引ノ點)、第三
十二條、第三十七條及第三十八條(罰則ノ事)ニ付辯
明スル所アリ

次テ平沼顧問官ト立石司法省刑事局長トノ間ニ第
二十六條第六號ノ被拘禁者ニ関シ問答アリ
第十三章以下ヲ審議ス

倉富顧問官ヨリ第九十七條ト第百五條トノ關係ニ

付、江木顧問官ヨリ青ヶ島及琉球ニ於ケル事情ニ付、
富井委員長ヨリ附則ニ付孰レモ質問アリ潮内務省地
方局長一々之ニ答フ

尚二上書記官長ヨリ第五十一條以下諸條ニ関シ數多
ク質問アリ之ニ對シ潮地方局長、松村警保局長及全
森法制局參事官ノ答辯アリ

右ニテ質問伏リト認メ富井委員長開會ヲ宣ス

(午後零時十五分開會)

植
密
院

衆議院議員選舉法施行令改正ノ件第四回審査委員會

大正十四年十二月十五日(大曜日)本院事務所ニ於テ開會

出席者

穂積議長

審査委員長

富井顧問官

審査委員

福
密
院

平山顧問官
倉富顧問官
山川顧問官
古市顧問官
平沼顧問官
江木顧問官
二上書記官長
村上書記官
堀江書記官

(午前十時二十分開會)

富井委員長開會ヲ宣シ本案ノ條項ニ付各員ノ
意見ヲ問フ

第二十一條ノ點字使用ヲ盲人ニノミ限ルヘキヤ否ヤ
及第二十六條第六號ノ被拘禁者ノ規定ハ全削カ
又ハ之ヲ廣ケテ行政檢束ノ場合ニ迄及ホスヘキカ孰
レモ問題ト為リ論議セラレタルモ結局未決ノ儘之ヲ
後廻シトス

第三十七條及第三十八條(罰則)ニ關シ平山、倉富、
平沼各顧問官ヨリ削除說出テタルモ決定ニ至ラス

富井委員長閉會ヲ宣ス

(午前十一時四十五分閉會)

附
密
附

衆議院議員選舉法施行令改正ノ件第五回審査
委員會

大正十四年十二月十七日(木曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

穂積議長

審査委員長

富井顧問官

審査委員

附
密
院

平山顧問官
 倉富顧問官
 山川顧問官
 古市顧問官
 平沼顧問官
 江木顧問官
 二上書記官長
 堀江書記官

(午前九時四十分開會)

富井委員長開會ヲ宣シ前回ニ引續キ本案ニ對スル
 各員ノ意見ヲ求ム

江木顧問官ヨリ第三十七條及第三十八條ノ削除意
 見アリ平山倉富兩顧問官之ニ賛成シ其ノ他各員
 異議ナク之ニ決ス

二上書記官長ヨリ第五十一條、第五十三條、第六十
 一條、第六十四條、第七十一條、第一百十條等ニ關シ修
 正意見アリ

倉富顧問官ヨリ第三十二條第四項ニ關シ修正意

見アリ

依リニ前回未了ノ第二十一條ノ點字使用ヲ盲人ニ
限定スルコト及第二十六條第六號削除ノコトニ一
應意見ヲ纏メ前記諸點ト合セテ政府ノ再考ヲ
求ムル為書記官長ヨリ當局者ニ交渉スルコトニ
決ス

富井委員長閉會ヲ宣ス

(午前十一時五十分閉會)

衆議院議員選舉法施行令改正ノ件第六回審査
委員會

大正十四年十二月二十三日(水曜日)本院事務
所ニ於テ開會

出席者

穂積議長

審査委員長

富井顧問官

審査委員

平山 顧問官

倉富 顧問官

山川 顧問官

古市 顧問官

平沼 顧問官

江木 顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午前十時十分開會)

富井委員長開會ヲ宣シ曩日ノ委員會ノ決定意
見ニ基キ政府トノ交渉顛末ニ付書記官長ヨリ
報告ヲ求ム

二上書記官長右ノ交渉顛末ヲ報告シ第二十一條
ノ點字ニ関スル問題、第二十六條第六號ノ削除第
三十二條第四項ノ修正ヲ除クノ外他ノ諸條ノ修正ニ
付テハ政府當局ニ於テモ異議ナキ旨ヲ陳述ス

右ニ付委員間ニ意見ノ交換アリタル後第二十一條及
第二十六條ノ問題ニ付尚再應書記官長ヨリ政府當

局、再考方交渉スヘシトノコトニ決定

富井委員長閉會ヲ宣ス

(午前十一時二十分閉會)

附
密
附

衆議院議員選舉法施行令改正ノ件第七回審査
委員會

大正十五年一月十九日(大曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

穂積議長

倉富副議長

審査委員長

富井顧問官

臨
密
院

審査委員

平山顧問官

山川顧問官

古市顧問官

平沼顧問官

江本顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後二時十五分開會)

富井委員長開會ヲ宣ス

二上書記官長委員會ノ修正意見ニ付政府當局

トノ交渉經過ヲ説明シ第二十一條ノ點字ノ問題及第

二十六條ノ被拘禁者ノ問題ヲ除キ他ノ諸條ノ修正ハ

内閣ニ於テ改案スヘキモ右二問題ニ關係スル條項ハ樞密

院ノ修正トセラレタシトノ當局ノ希望ナル旨ヲ述ヘ委

員一同之ニ異存ナシ

次テ修正ノ内容ニ付書記官長ヨリ説明アリ其ノ通り可

決確定ス

樞密院

次テ審査報告案ヲ付議シ字句ノ修正一點アリタル外
異議ナク之ヲ可決ス

富井委員長閉會ヲ宣ス

(午後三時十分閉會)

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法
中改正法律案帝國議會、提出ノ件外二件第一回審
査委員會

大正十五年二月二十七日(土曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

穂積議長

倉富副議長

審査委員長